V章 調査研究・学会発表実績

1 その他の調査研究事業

令和6年度

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著者名 （発表者名）等
第70回 大分県公衆衛生学会	<p>題目：北部圏域における糖尿病性腎症重症化予防専門外来立ち上げに向けた取組みについて～かかりつけ医・専門医・市役所との連携による支援システムの構築に向けた保健所の役割～</p> <p>論旨：大分県の人工透析患者数は全国5番目の高さであり、北部圏域でも糖尿病性腎症重症化予防対策の推進が喫緊の課題。そこで、地域で完結可能な北部圏域内A市での専門外来設置及び糖尿病性腎症重症化予防支援システムの構築に向けた保健所の役割を考察した。保健所の役割は関係機関との関係性の強さを活かし、支援システム構築のため、リーダーシップの発揮が重要であると明らかになった。 (地域保健課)</p>	○ 甲斐 ちひろ 西本真由美 内田弘子 小野重遠
	<p>題目：「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の推進に向けた保健所の取組～当事者の地域移行・定着を目指した地域アセスメント結果の活用～</p> <p>論旨：「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の推進に向けて、地域の課題を整理し、今後の方向性を検討するため管内各市と協働し「地域アセスメント」を実施した。その結果、医療と福祉の連携による支援体制の強化や、当事者の生活能力の向上に向けた取組や、家族への相談支援体制の充実等の圏域の課題が明確になった。 (地域保健課)</p>	○ 松原 麻夏 河野 さくら 阿南 恵理香 内田 弘子 小野 重遠 元永 静香 高森 洋子
	<p>題目：台風10号における豊後高田保健部管内の保健活動の実際～情報集約と連携のあり方を考える～</p> <p>論旨：令和6年8月に発生した台風10号の保健活動を振り返り、保健活動に携わる関係者間の情報集約と連携のあり方について検討。災害時の保健活動における情報集約と連携のあり方について①情報集約の仕組みづくり②包括的な情報提供③平常時から体制整備及びネットワークの強化④地域のコミュニティー（インフォーマル組織）の力の活用の4つの対策の必要性が示唆された。 (地域保健課)</p>	○ 元永 静香 松崎 美知佳 石丸 ゆい 高森 洋子 渡邊 徹 倉本 理花子 小野 重遠
	<p>題目：保健所・保健部協働による若手保健師の人材育成①～自己効力感を高めながら緊急事案対応に臨める仕組みづくり～</p> <p>論旨：関係法律に基づき速やかに対応を必要とされる精神及び感染症に係る事案（緊急事案対応）に、若手保健師が自己効力感を高めながら臨めるための仕組みとして、①多人数職員配置保健所の責務②自己効力感を高めながら経験を重ねるための具体的方法等について検討・考察した。 (地域保健課)</p>	○ 阿南 恵理香 松原 麻夏 西本 真由美 内田 弘子 小野 重遠 元永 静香 高森 洋子
	<p>題目：保健所・保健部協働による若手保健師の人材育成②～限られた人数で緊急事案対応に臨むための一考察～</p> <p>論旨：豊後高田保健部のように、限られた人数で緊急事案対応に臨むための体制のあり方及び実践対応力を向上する人材育成の方策を検討。①所属内の課・職種を超えて協働する体制づくり②本所等と協働した取組み③若手保健師間での相互共有と知見の集積の4点を段階的に進めていくことが重要。特に実践場面での学びは不可欠であり、小規模保健部でも事案の実践経験を積める体制づくりは必須。 (地域保健課)</p>	○ 高森 洋子 元永 静香 渡邊 徹 阿南 恵理香 内田 弘子 小野 重遠
	<p>題目：管内の外国人住民の医薬品購入実態に関する調査報告</p> <p>論旨：管内で急増している外国人住民の医薬品購入実態のアンケート調査を行った。結果から在留期間3年未満の外国人住民は母国からの持参した医薬品を使用し、日本での購入機会が少ない一方、在留期間が3年以上になると購入機会が増え、日本語表記の理解に課題が生じることが明らかになった。在留期間に応じた支援策と外国人の多様な背景を考慮した研修の実施が必要である。 (衛生課)</p>	○ 橋本 啓一 権藤 貴裕 久保田 萌友 三上 賢一
	<p>題目：北部保健所管内の小中高生における薬物乱用に関する意識調査報告</p> <p>論旨：大分県北部保健所管内（中津市、宇佐市）の児童生徒の薬物乱用と悩みに関する実態を把握し、より良い薬物乱用防止教室開催に資するため、アンケート調査を行った。薬物に関する情報の入手経路として「学校の授業」を選択する児童生徒が多く薬物乱用防止教室の意義を再確認でき、匿名で相談できる窓口の周知の強化といった課題も確認できた。 (衛生課)</p>	○ 権藤 貴裕 久保田 萌友 河村 聡志 橋本 啓一 三上 賢一
	<p>題目：外国出生肺結核患者の発病予防・早期発見・治療継続に向けた受入事業所等との連携</p> <p>論旨：令和6年に発生した外国出生肺結核患者9名の早期発見の要因分析結果および特性を理解した支援、受入事業所・管理団体・登録支援機関と連携して実施した発病予防、早期発見、治療継続のための取組を報告した。就労目的の外国出生者対策として、受入事業所等との支援体制構築の重要性と連携のあり方について考察した。 (地域保健課)</p>	○ 石原 沙津季 内田 弘子 阿南 恵理香

(続き)

学会等の名称	題目・論旨 (担当課名)	著者名 (発表者名)等
令和6年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会	<p>題目：食肉処理業・食肉販売業の無許可営業への行政対応について(第2報)～外国人が従事する食肉処理施設への衛生指導報告</p> <p>論旨：外国人による食肉処理業・食肉販売業の無許可営業事案に関する経過報告。当該施設が食肉処理業の営業許可を取得し、衛生管理指導状況等や外国人に対する頻回の衛生指導の重要性について発表した。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>	○ 権藤 貴裕 橋本 啓一 三上 賢一
	<p>題目：スチームコンベクションオーブンをを用いた低温加熱調理の検証実験(第2報)</p> <p>論旨：管内の低温加熱により加熱食肉製品を製造する業者が、食品衛生法違反の罪で逮捕起訴されたことにより、業者が実際に行っていた製造基準を逸脱した方法での加熱調理の検証実験について発表した。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>	○ 白石 桃子 鷲野 美希 河村 聡志
	<p>題目：容器包装詰加圧加熱殺菌食品である里芋の水煮からの異臭の発生について</p> <p>論旨：管内の事業者が製造した、容器包装詰加圧加熱殺菌食品である里芋の水煮から異臭が発生した事案があった。当該事業者に立入調査・指導を行い、その内容について発表した。</p> <p style="text-align: right;">(健康安全・衛生課)</p>	○ 百武 兼道 白石 裕雅 渡邊 徹 白石 桃子 橋本 啓一
第30回 大分県薬剤師学術大会	<p>題目：大分県北部保健所管内における児童生徒の薬物乱用と悩みに関する実態調査</p> <p>論旨：近年若年層の薬物乱用者が増加している背景から、北部保健所管内(中津市、宇佐市)の児童生徒の薬物乱用と悩みに関するアンケート調査を行い、より良い薬物乱用防止教室開催を目指した。調査結果により、薬物乱用防止教室の開催意義と、匿名相談窓口の周知の必要性を確認できた。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>	○ 久保田 萌友 河村 聡志 権藤 貴裕 橋本 啓一 三上 賢一
第24回 大分県栄養士学会	<p>題目：給食施設指導業務のDX化</p> <p>論旨：給食施設指導業務のDX化に取り組み、業務効率化や施設指導業務の質の向上のみならず、指導のあり方の明確化を図ることができた。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>	○ 世古 なぎ
第38回 日本公衆衛生学会総会	<p>題目：神経難病患者の摂食・嚥下に関わる支援方策の検討 ～ALS患者を中心とした支援から～</p> <p>論旨：摂食嚥下に困りを抱えたALS患者4名に関する支援の振り返りと、北部圏域難病対策地域協議会を通して神経難病患者の摂食嚥下に関する支援方策の検討を行った。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>	○ 杉本 綾音 東 優花 世古 なぎ 平野 沙樹 飯田 育子 池田 裕美
第13回 日本公衆衛生看護学会 学術集会	<p>題目：外国出生肺結核患者の発病予防・早期発見・治療継続に向けた支援のあり方</p> <p>論旨：外国出生肺結核患者9名の早期発見の要因分析結果および外国出生者の特性を理解した支援、受入事業所・管理団体・登録支援機関と連携して実施した発病予防、早期発見、治療継続のための取組を報告した。就労目的の外国出生者対策として、受入事業所等との支援体制構築の重要性と、多様な背景のある彼らへの支援のあり方について考察した。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>	○ 石原 沙津季 内田 弘子 阿南 恵理香
令和6年度 宇佐・豊後高田地域 看護研究発表会	<p>題目：北部圏域における糖尿病性腎症重症化予防専門外来立ち上げに向けた取組み ～かかりつけ医や専門医等との連携による支援システムの構築に向けた保健所の役割～</p> <p>論旨：大分県の人工透析患者数は全国5番目の高さであり、北部圏域でも糖尿病性腎症重症化予防対策の推進が喫緊の課題。そこで、地域で完結可能な北部圏域内A市での専門外来設置及び糖尿病性腎症重症化予防支援システムの構築に向けた保健所の役割を考察した。保健所の役割は関係機関との関係性の強さを活かし、支援システム構築のため、リーダーシップの発揮が重要であると明らかになった。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>	○ 甲斐 ちひろ 西本真由美 内田弘子 小野重遠
	<p>題目：神経難病患者に対する摂食嚥下の支援について</p> <p>論旨：摂食嚥下に困りを抱えた神経難病患者4名の支援から神経難病患者に対する摂食嚥下の支援方策について検討を行った。神経難病患者に対してできるだけ早期から介入を行うことが必要でありこの困りを他職種でも検討していくことが重要であることが再認識できた。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>	○ 杉本 綾音 東 優花 平林 咲 世古 なぎ 阿南 恵理香 西本 真由美 内田 弘子 小野 重遠